

Management Club Report

Jan. 2009/Vol.73

Monthly Opinion 《歯科医院経営、もう一つの目的》

先月紹介したスタッフリーダー・ミーティング、表現方法や個性の違いはあるものの、8人のスタッフリーダーたちはそれぞれ意欲に満ち溢れ、輝いていました。

これは恐らく、それぞれの所属する歯科医院に彼女たちの目を輝かせる何かが存在しているからだと思います。それが何であるのかは、歯科医院によって異なります。ある医院では医療者としての高いモチベーションでしょうし、別の医院では組織内でのエンパワーメントにあるかもしれません。あるいは地域貢献に対する実感や誇りといったことかもしれませんし、働きや誇りに見合う俸給の高さということもあるでしょう。さらにはそれらをすべて具備していることもあります。

これまで我が国では、歯科医院を職場に選ぶ女性は、仮に資格を有した歯科衛生士であっても『歯科医師の手足』的に扱われていたこともあり、独立した地位が認知されてきた看護師ほどの存在感はなく、社会的な地位は決して高いとは言えないものがありました。

このことの大きな原因は、歯科医院経営者である歯科医師が歯科医院経営の目的を『地域住民の健康を守る』ことだけに置くという、大なる錯誤を犯してきたからにほかなりません。

『地域住民の健康を守る』ことは歯科医師としての使命ですが、歯科医院経営者である歯科医師の使命は、そのことに加えて従業員を意欲に満ちた一流の人材に育成するという、もう一つの使命の存在が忘れられていたのではないのでしょうか。今月は『人材育成』について考えてみたいと思います。

1

バランス・スコアカードを通して見る医院経営

バランス・スコアカードの効果

バランス・スコアカードについては以前にも詳しく書いたことがありますが、最近是个別の訪問コンサルにおいて実践しており、いくつもの“症例”を重ねるようになりました。

バランス・スコアカードの実践は経営を戦略的に再構築する上で有効であると共に、人材育成という面でも大きな効果を発揮することが身をもって確認で